

■ コンバインドABS (CB1100 <Type I > ABS) (CB1100 <Type II > ABS)

この車は、連動ブレーキシステムとABS（アンチロックブレーキシステム）を装備しています。

連動ブレーキシステムは、ブレーキペダルを操作すると、後輪ブレーキが作動すると共に前輪ブレーキが作動し、ブレーキレバーを操作すると前輪ブレーキが作動します。

レバーのみ操作した場合とペダルのみ操作した場合では、制動力が異なるため効果具合に違いがあります。

制動力を効果的に得るためには、レバーとペダルを同時に使う必要があります。

ABSは、直進制動時のブレーキのかけすぎによる車輪ロックを制御する装置です。

ABSを正常に機能させるため、タイヤは必ず前後輪とも指定タイヤをお使いください。

- 制動距離を短くするためのものではない
- ▶ ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。

- 低速（約 10 km/h 以下）では普通のブレーキと同じ作動になる
- ブレーキ操作時に、レバーやペダルに反動が生じることがある

▶ ABSが作動しているときの現象で異状ではありません。反動の強さは状況によって異なります。

■ エンジンブレーキ

スロットルを戻すと、エンジンブレーキが効きます。さらにエンジンブレーキを必要とするときは4速、3速・・・とシフトダウンを行ってください。急激なシフトダウンは、尻振りなどの原因や、エンジンやトランスミッションに悪影響を与えます。また、長い下り坂や急な下り坂などでは、ブレーキ操作とエンジンブレーキを併用してください。